

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和2年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

資料1

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)							連携市町評価							令和2年度高松市取組実績	令和2年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和2年度目標	令和2年度実績	達成率	令和2年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町			綾川町	
1 圏域全体の経済成長のけん引	ア	産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	1	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	圏域全体の経済成長のけん引等に係る連携事業数	事業	15	14	93.3	R5年度までに、4事業を追加することとしており、計画期間後半の4年間で2事業の追加を目指す。R2年度は、新規事業の追加を検討したものの、事業数の増には至らなかった。	A	B	A	A	B	A	B	A	コロナ禍を踏まえ、Web会議を利用して瀬戸・高松広域連携中枢都市圏推進委員会や瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会等を開催した。	【さぬき市】新型コロナウイルス感染症流行のため、オンライン上でビジョン懇談会を実施した。 【東かがわ市】瀬戸高松中枢都市圏ビジョン懇談会等で産学金官民連携の懇談会を開催した。 【土庄町】高松市が中心となり、産学金官民一体となったビジョン懇談会の運営等を行った。 新型コロナウイルス感染症対策のため、Web会議にて開催した。 【小豆島町】WEB懇談会に参加。 【三木町】懇談会会の設置・運営等に関し、必要な協力を行う。 【直島町】事務局会、ビジョン懇談会等に参加した。 【綾川町】ビジョン懇談会など積極的に参加できた。
			2	幅広い層が集まる「場」づくり事業	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトへのアクセス数	件	3,900	3,735	95.8	H29年度実績(訪問者数)をベースに、圏域人口(ビジョン目標)の1%を最終年度の目標とし、漸増を目標とする。新型コロナウイルスの影響により、イベントが中止になり、十分な情報発信ができなかった。	A	B	B	A	B	B	C	C	コロナ禍を踏まえ、連携各市町の担当者が集まる事務局会で、事業内容について意見交換を行ったもの、予定していた連携市町のイベントが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となり、「場」づくり事業そのものが十分に行えなかった。	【さぬき市】ビジョン懇談会での協議を行った。 【東かがわ市】ビジョン懇談会での協議を行った。 【土庄町】瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトのPR 【小豆島町】WEB懇談会への参加、運営。 「圏域若者会議」への委員参加。 【三木町】会議の設置・運営等に関し、必要な協力を行う。 【直島町】コロナの影響もありイベントが中止になったため、イベント情報の掲載ができなかった。 【綾川町】コロナ禍ということもあり、イベント等の開催がほとんどなかったため活用の実績なし。
	イ	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	3	中小企業経営力強化事業	講習会等受講者数	人	2,425	1,397	57.6	受講者数については第6次総合計画の指標にもなっており、目標設定は総合計画と同数にしている。企業側のニーズも高く、1,400人程度の受講を得たが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い開催回数の減少や例年参加者が最も多い確定申告個別相談会の規模が縮小となり、目標とする受講者数の達成には至らなかった。	C				A	B			R2年度は、「創業塾」など、年9回の講習会を開催した。前年度と同じ事業費(共催負担金1,600千円)で、企業ニーズに合わせた内容で実施したが、新型コロナウイルスの影響により、1,400人程度の受講者となり、前年度を下回る結果となった。	【土庄町】中小企業経営講習会等の開催について、情報共有を行った。 【小豆島町】講習会開催に関する町内事業者への周知を行った。
			ウ	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	4	ブランド農産物育成支援事業	たかまつ食と農のフェスタにおける出展者販売額	千円	0	0	-	R2年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。	A	C	B	B			B	
	ウ	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	5	ふるさと納税に係る共通返礼品の検討	共通返礼品の数	品	3	3	100.0	広域連携構成市町で、実現性があり、且つ寄附者の方に親しみやすい返礼品を設定することを考慮すると、年度間で3つの特色あるセットを作ることが具体的な目標として適切であると考えた。また、各市町において一定数の寄附申込があったことから、寄附者の反応は良好であったと判断している。	A	B	A	B	A	A	C	B	ふるさと納税の繁忙期となる12月に向けて準備を進め、予定どおり返礼品の掲載、寄附受付を開始することができた。 R2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による影響から、全国的に巣ごもり需要が発生したとされているが、具体的にふるさと納税にどれほどの影響があったかは不明である。	【さぬき市】連携市町を3つのグループに分け、グループごとに地場産品を活用した共通返礼品を企画し、各市町ポータルサイトへ掲載した。 【東かがわ市】8市町でのウェブ会議を重ね、ポータルサイト上での共通返礼品の掲載に至った。 【土庄町】うどん食べ比べセット・いちご食べ比べセット・人気調味料詰め合わせセットの3品を共通返礼品として運用。 【小豆島町】R2年12月3日より、各自自治体の契約サイトに共通返礼品掲載開始。 【三木町】共通返礼品3品を開発 ・いちご食べ比べ3か月定期便 ・ドレッシング等調味料セット ・うどん食べ比べセット 合計寄附実績 65件/2,093千円 【直島町】うどんセット、いちご食べ比べセット、調味料セットなどを導入したが利用者は少なかった。 【綾川町】共通返礼品3品
			イ	戦略的な観光施策	6	誘客促進事業観光連携協議会等の設置・運営	観光施設等利用者数	千人	6,587	3,945	59.9	【目標の設定方法】第6次高松市総合計画策定時(H26)に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】情報発信等の広域的な観光PRを行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、移動制限や施設閉鎖の対応を取らざるを得ず、観光施設等利用者数も大幅に減少した。	B	B	B	D	D	B	C	D
	イ	戦略的な観光施策	7	国内誘客促進事業	観光施設等利用者数	千人	6,587	3,945	59.9	【目標の設定方法】第6次高松市総合計画策定時(H26)に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げており、そこから中間目標値として設定。 【目標値に対する実績の理由】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、移動制限や施設閉鎖など、利用者数が著しく減少したため、目標値には達成しなかった。	B	B	B	A	B	B	B	B	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、東アジア4路線の休止やクルーズ船の寄港中止などにより事業の変更を要し、各市町が独自に誘致活動を行った。	【さぬき市】取組実績なし。 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、県外からの誘客促進に係る取組みは困難。 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組みを行っているが、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない。 【土庄町】日本一でカボチャ大会、瀬戸内海タートルフルマラン全国大会(バーチャル大会)などのイベント開催、日本遺産サットに出展を行った。 【小豆島町】新型コロナウイルス感染症の影響でイベント(神戸港まつり)が中止となり、観光PR活動ができなかった。 【三木町】情報収集及び情報発信。 【直島町】宮浦港港湾施設のバトロール、イルミネーションの実施。 【綾川町】HPやSNS、広告等で、町内の魅力を発信し、国内の誘客に努めた。

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価						令和2年度高松市取組実績	令和2年度連携市町の取組実績			
			KPI	KPI説明	単位	令和2年度目標	令和2年度実績	達成率	令和2年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町
	8	海外誘客促進事業	香川県外国人延べ宿泊数	香川県内の外国人延べ宿泊者数	人	700,000	75,290	10.8	【目標の設定方法】 政府目標である「訪日外国人数を2020年に4000万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加を目指す。 【目標値に対する実績の理由】 R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、東アジア4路線が休止したことで宿泊者数が大幅に減少した。	D	B	B	A	B	B	C	B	引き続き、高松空港と定期航路で結ばれた台北・上海・ソウル・香港からの観光客を誘致するため、公益社団法人香川県観光協会に対し補助を行った。	【さぬき市】取組実績なし。 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、海外客促進に係る取組みは困難。 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組みを行っているが、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない。 【土庄町】海上航路を活用した瀬戸内広域プロモーション事業として、訪日旅行商品を扱う旅行代理店に向けたバーチャルツアーを実施した。 【小豆島町】多言語対応の観光案内デジタルサイネージを設置した。 【三木町】情報収集及び情報発信。 【直島町】企業（ベネッセ等）が誘致を推進しているため、町としては事業を展開していない。 【綾川町】外国語版の観光パンフレットの作成し、海外向けの誘客に努めた。
	9	国内外観光客向け情報発信事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,587	3,945	59.9	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げている。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休園・休館、移動制限や入国制限により、市内の主な観光施設等利用者数が大幅に減少した。	B	B	B	A	B	B	C	A	本市多言語観光サイト「エクスペリエンス高松」において、体験型コンテンツを紹介する際に、瀬戸内海でのクルージングやオリーブ牛をテーマにした記事の中で、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の自治体に関連する情報を多言語にて掲載した。 これまでの取組により、認知度の向上及びページビュー数の増加はもとより、新規ビューアに止まらず、リピーターの獲得ができた。	【さぬき市】「エクスペリエンス高松」を活用した情報発信において、本市の関連記事の作成はなし。 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組みを行っているが、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない。 【土庄町】HP・SNSを利用して観光情報を発信した。 【小豆島町】取組実績なし。 【三木町】情報収集及び情報発信。 【直島町】アイランダー2020などで観光PR活動・HP・観光マップの配布などで情報を発信した。 【綾川町】新たに旅行ガイドブックの記事掲載や、外国語版（中国語・韓国語）観光パンフレット作製に取り組んだ。
	10	瀬戸内国際芸術祭推進事業	-	-	-	0	0	-	-	A			A	A	A			新型コロナウイルス感染症の影響により、ART SETOUCHI 2020は一部の開催となったが、実行委員会や市内各島と連携・調整しながら、瀬戸内国際芸術祭2022開催に向けた準備を行った。	【土庄町】恒久的に設置している作品について、維持管理を行うとともに、パンフレットを作成し、情報発信も行った。 【小豆島町】コロナ禍ではあったが、既存作品の展示継続や周辺環境の整備を行い、次期瀬戸内国際芸術祭2022に向けた準備を整えた。 【直島町】瀬戸内国際芸術祭2022にむけて関係機関との調整。
	11	新たな観光プランの企画、販売等	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,587	3,945	59.9	【目標の設定方法】 第6次高松市総合計画策定時（H26）に5年後に達成する目標として現況値の1%増を目標に掲げている。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響により、ぶち旅プランの約半数が催行中止となり、また観光施設等利用者数も大幅に減少した。	B	B	B	A	B	B	C	B	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興のため、(公財)高松観光コンベンション・ビューローが造成する「ぶち旅プラン（着地型旅行商品）」の企画・販売事業を支援した。 コース数 12コース 参加者数 56名（悪天候及びコロナ禍のため、全15日の催行日の内、7日は実施できず）	【さぬき市】「ぶち旅プラン（着地型旅行商品）」(公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローが主体)のパンフレットにおいて、掲載可能な観光情報の照会があり、「お遍路体験」等本市の体験型コンテンツを情報提供した。 【東かがわ市】R1年度に観光基本計画を策定し、本市の観光協会を中心に誘客促進の取組みを行っているが、圏域内の観光部署や組織との連携が図られていない。 【土庄町】「ぶち旅プラン」パンフレットへの観光情報掲載の打合せを行った。 【小豆島町】本町の取組実績なし。 【三木町】情報収集及び情報発信。 【直島町】新型コロナウイルス感染対策や、観光客向けのアプリケーションの改良など。 【綾川町】四国DCに向けて観光素材の提供を行った。
	12	イベント交流の促進	まつり・イベント入込み客数	観光客誘致に資するまつり・イベント実行団体発表の入込み客数をカウント	人	1,116,200	393	0.0	【目標の設定方法】 より効果的な周知宣伝活動により、イベント入込客数について、5年後に1割増を目標に掲げ、設定。 【目標値に対する実績の理由】 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、入込数は目標を下回った。※実績の133人は、まちかど漫遊帖のみの数字。	D	B	B	A	B	A	C	B	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ほぼ全てのイベントが中止となった。開催したイベントに関しては、SNSを利用した周知宣伝活動のほか、周知宣伝を行った。	【さぬき市】取組実績なし。 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、イベントは軒並み中止。 【東かがわ市】「引田ひなまつり」や「風の港まつり」などのイベントが中止となった。 【土庄町】第40回小豆島まつり 中止 第34回日本一どてかボチャ大会 約50人 瀬戸内海タートルフルマソン全国大会（バーチャル大会） 約210人 【小豆島町】各種イベントの実施ができなかった。 (中止) ・マラソン大会 0人 ・千枚田虫送り 0人 ・小豆島まつり 0人 【三木町】新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベント中止。 【直島町】圏域内での取組について、具体的な取組みに至っていない。 【綾川町】恒例イベントに加え、新規イベントとしてえきバル・マルシェ等も検討していたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、実績なし。えきバル実施のための備品購入を行った。
	13	デリバリーアーツ事業	鑑賞者数	参加を希望される協力団体の提供場所の規模により、鑑賞者数に偏りがあるため、鑑賞者数では判断しきれない。限られた予算の中で、公演の質の維持と事業を継続していくことを重点に実施する。	人	2,100	237	11.3	事務事業評価と合わせた鑑賞者数で目標設定を行う。 新型コロナウイルス感染症の影響により、鑑賞者数は目標値を下回ったものの、開催した団体からは好評であるため再度実施したいという要望が多く、満足度は高い。また、市民の身近なところで文化芸術に触れる機会を提供するという事業目的も達成している。	D	B	B	B				A	新型コロナウイルスの影響により、延期又は中止が発生したものの、感染対策を講じながら、R2年10月からR3年2月までの期間で、瀬戸フィルアンサンブル演奏、和太鼓、ストロー笛コンサート、民謡及びフルート&ピアノデュオの5メニュー、8公演を実施した。 このうち、圏域内では、東かがわ市で2公演、綾川町で2公演を実施した。	【さぬき市】新型コロナウイルス感染症の影響によりなし。 【東かがわ市】瀬戸フィル音楽会及び讃岐国分寺太鼓の公演を開催した。各1回開催し、新型コロナウイルス感染症対策として来場者を制限し、約60名が参加した。 【土庄町】新型コロナウイルス感染防止のため、事業中止。 【綾川町】2回実施。 内容：フルート&ピアノデュオ「Olivia」 日時：R2年12月20日 11時から 場所：綾川町立西分公民館 来場者数：約30人 内容：フルート&ピアノ13日 14時から 場所：綾川町立滝宮公民館 来場者数：約30人

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和2年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

資料1

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価						令和2年度高松市取組実績	令和2年度連携市町の取組実績			
			KPI	KPI説明	単位	令和2年度目標	令和2年度実績	達成率	令和2年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町
	14*1	文化芸術鑑賞等の機会の提供	鑑賞者数(劇団四季ミュージカル鑑賞)	児童、先生を合わせた鑑賞者数(連携市町分含む)高松市と連携市町の全6年生を招待しているため、児童数と引率教員数が鑑賞者数となる。平成25年～27年の平均鑑賞者数を基に目標比を算出する。(H25:4,985人、H26:5,323人、H27:5,143人)	人	5,117	0	0.0	H29年～31年の平均鑑賞者数を基に目標値を算出する。児童数と引率教員の合計数がそのまま鑑賞者数となるため、その年の児童数の増減による。	D	C	B	B	B	A	C	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を見合わせた。 【さぬき市】取組なし。 →新型コロナウイルスの影響により、劇団四季「こころの劇場」ミュージカル公演自体が中止となったため。 【東かがわ市】文化芸術鑑賞の場の提供は他地域との連携事業にて同内容のものを実施している。教育プログラムの都合上併用は難しく当該圏域による事業実施にはつなげていない。 【土庄町】新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた劇団四季ミュージカル公演が中止。 【小豆島町】町内にある4小学校6年生が、劇団四季ミュージカルを鑑賞する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により公演が中止となった。 【三木町】新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、ミュージカル鑑賞は実施していない。 【直島町】公演中止のため参加なし。 【綾川町】新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止となり、取組の実績はない。	
	14*2	文化芸術鑑賞等の機会の提供	参加校数(美術館学習)	参加校数	校	35	5	14.3	H28年度実績(32校)を基に設定。新型コロナウイルス感染症の影響により参加校数は伸びなかった。	D	B	B	B	C	B	C	B	高松市内の小中学校に美術館学習の周知を行い、参加を希望する学校に対して、美術館での鑑賞学習及び施設見学等を実施した。また、高松市内及び連携する市町圏域内の小・中学校に特別展チラシを配布し、美術館鑑賞の機会を設けた。 【さぬき市】取組なし。 →校外学習の授業時間が限られている中で、美術鑑賞学習を実施している小中学校もあるが、近年話題の大塚国際美術館等へ流れる傾向があり、高松市立美術館の活用はなかった。 【東かがわ市】既存の授業日程の都合上利用が難しく事業実施にはつなげていない。 【土庄町】新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた劇団四季ミュージカル公演が中止。 【小豆島町】取組実績なし。 【三木町】取組実績なし。 【直島町】取り組み実績なし。(参加の呼びかけに至っていない。) 【綾川町】鑑賞校数：小学校3校(111名)、中学校0校(※鑑賞校数・人数は県立ミュージアム)	
	15	観光バリアフリーのためのUDマップ作成・活用事業	UDマップ掲載HP閲覧数	連携中枢都市圏のHPIにUDマップを掲載する予定のため、掲載後のHP閲覧者数をKPIとする	件	24,480	72,660	296.8	R2年4月1日からR3年3月31日までのUDマップサイトの閲覧件数	A	B	A	A	A	A	B	A	H31年3月26日に公開したUDマップに掲載されている施設情報を、より充実した内容にするため、多様な主体との連携によって、市内企業等への掲載に関する依頼・情報の整理等の取組を推進した。 【さぬき市】掲載内容の修正・追加を行った。 【東かがわ市】連携中枢都市圏のHPIに市内施設の情報を提供した 【土庄町】UDマップの掲載内容について、修正を行った。 【小豆島町】高松市HPにて公開されている。 【三木町】UDに対応した施設等の情報提供及び発信。 【直島町】年度末現在、12施設が登録している。 【綾川町】リニューアルに伴い「道の駅富宮」の情報を更新した。	
2	ア	高度な医療サービスの提供	16	医療人材の確保・育成	看護師等養成所卒業生の資格取得率	看護師等養成所の運営に対して助成を行い、卒業生の資格取得率の向上を図ることで、新たな医療人材の確保を達成する。	%	100	96	96.3	H28年度から最終年度まで卒業生全てが資格を取得すると想定し、100%を目標値として設定している。 R2年度は卒業生のうち96.3%(107人中103人)が資格を取得することができた。	A					A	看護師及び准看護師の養成所(高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属看護学院)の運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保を図った。 【三木町】木田地区医師会附属看護学院の運営に対して助成を行った。	
			17	医療職員の交流等	地域医療連携カンファレンス・セミナーにおける高松市外参加者数	地域の連携医療機関の医師との医療連携を進めるため、地域医療連携カンファレンス・セミナーを開催し連携強化に努める	人	18	5	27.8	コロナ禍での地域医療連携と交流を図るために開催できた。移動を最小限に抑え、座席指定とすること、院内医師のビークルも利用し、講演だけでは得られない関係性の構築に努めた。参加人数は昨年度の11名より少なかったが、感染対策を考慮した開催であった。高松市以外の参加者での評価であったが、移動制限がある中での開催であったことより、目標値は下回ったが、出席者の限界であったと予想する。	D	B		B	B	B	B	「地域医療連携カンファレンス」をR2年10月21日開催した。講師：徳島大学大学院・医師薬学研究所、臨床神経学、和泉唯信教授を招いた。演題名「認知症患者への対応の実際」、参加者は院外50名、院内34名、合計84名であった。(昨年度95名) 【さぬき市】高松市立みんなの病院主催にて、徳島大学大学院医歯薬学臨床神経学教授を招くなどし、地域医療連携カンファレンスを1回、地域医療連携セミナーを3回開催した。 【土庄町】1名参加 【小豆島町】1名参加 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【綾川町】0件
	イ	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	18	ICカードを利用した公共交通利用促進事業	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、ICカード「Iruca」を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	2	2	100.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。 R2年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	A	B		B	A	A	A	R2年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。 【さぬき市】圏域内でのICカードの利用状況を協議し、コミュニティバスへのICカードの導入を検討した。 【土庄町】航路及び路線バスの利便性向上を図るため、バス及び航路でICカードが利用できる旨の周知広報及び運転免許証自主返納支援事業としてICカードの発行を引き続き行った。 【小豆島町】町内バス路線及び航路において導入済である。 【三木町】コミュニティバス等へのICカード導入について具体的に検討ができた。 【綾川町】ゴールドイカ事業を継続実施。 セーフティイカ(70歳未満の運転免許証返納者)へのサービスも継続実施。
	ウ	高等教育・研究開発の環境整備	19	大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成	大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数	事業	107	108	100.9	年間3事業ずつ連携事業を増やし、R5年までに110事業を目指す。R2年度は、従来からの継続事業のほか、地元大学の魅力向上に資する取組や観光分野の事業に係る連携を行うなどしたが、新型コロナの影響で事業数が前年度実績をやや下回った。	A	B	B	B	B	C	B	新型コロナウイルスの感染症の影響により、ドビタテ！留学ジャパン「香川地域人材育成コース」による留学生派遣事業及び香川大学が行っている東京圏と香川の学生の対流促進事業は中止となったが、学長・校長と市長との懇談会をWeb会議で実施し、各大学等のコロナ禍におけるオンライン授業や学生への支援に関する取組・課題等について意見交換を行った。 【さぬき市】香川大学地域マネジメント研究科で学位を取得しようとする職員に対して助成が可能な状態である。 【東かがわ市】本市の就職推進センターが大学のキャリアセンター等と連携し、学生の圏域内企業への就労に向けた支援を行った。 【土庄町】連携事業の実施には至っていないが、町として各大学と域学連携事業を行った。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、リモートで実施した。 【小豆島町】瀬戸内国際芸術祭運営の連携イベント実施、地元企業へのインターンシップ事業。 【三木町】庁内各課に香川大学との連携事業について照会をかけ、改めて連携事業数を把握。 【直島町】直島町まち・ひと・しごと創生推進会議委員等、町単独での取り組みは香川大学と実施しているが、圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】香川大学の政策提言プレゼンへの参加や多文化共生分野での連携の足掛かりとした。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和2年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

資料1

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価						令和2年度高松市取組実績	令和2年度連携市町の取組実績																
			KPI	KPI説明	単位	令和2年度目標	令和2年度実績	達成率	令和2年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町													
I その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策	20	産学官連携推進事業	大学及び企業等との連携事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業等との連携事業数	事業	158	165	104.4	大学等との連携・協力事業数及び包括連携協定を締結する企業との連携事業数の合計とし、R5年度までに170事業を目指す。R2年度は、新型コロナウイルス感染症の対策に配慮しつつ、目標を達成した。	A	B	B	C	C	A	C	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、約7割の連携事業の実施に影響が出た。また、新たに生活協同組合コープかがわ及び第一生命保険株式会社と包括連携協定を締結し、高齢者福祉や子育て支援などの連携事業を実施した。	【さぬき市】2件包括連携協定締結、1件再締結。 【東かがわ市】市独自で香川大学との域学連携を継続しているが本市の活性化のみを協議、検討している。 【土庄町】連携事業の実施には至っていないが、町として各大学と域学連携事業を行った。 ※コロナウイルス感染対策のため、リモートで実施した。 【小豆島町】取組実績なし。 【三木町】地域公共交通の項目で連携事業を実施。 【直島町】直島町まち・ひと・しごと創生推進会議委員等、町単独での取り組みは香川大学と実施しているが、圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】四国学院大学と連携協定を締結しており、関係課において協定の内容で連携が取れた。													
	21	データ利活用型スマートシティ推進事業	連携して収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	IoT共通プラットフォームを活用して、各市町と連携し、収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	分野	1	1	100.0	R5目標である4分野に対し、R元・2年度は1分野、その後1分野/年ずつ連携する分野を追加していく計画で目標を設定。また、R2年度は前年度に引き続き、防災分野について、連携を行ったもの。	A	B	A	B	B	B	C	A	本市のIoT共通プラットフォーム（FIWARE）の共同利用について、綾川町と締結している協定に基づき、防災分野において、水位計データや降水量データ等の共有・可視化等を実施した。（なお連携中枢都市圏以外で観音寺市とも共同利用を実施中。）	【さぬき市】IoT共通プラットフォームを活用したもの等ではないが、事務局会の中で、連携市町の担当者同席のもと、各市町のデジタル化の進捗状況について情報交換を行った。 【東かがわ市】瀬戸・たかまつネットワークの関係者による情報連携。 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】高松市との連携体制の構築。 【三木町】関係者間の調整を行った。 【直島町】運用コスト面など引き続き検討を行った。 【綾川町】出水期において避難指示を発令するような事例がなかったため、実績としては特になが、水位監視と監視カメラは正常に稼働している。													
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	A	(ア)	生活機能の強化に係る政策分野	(ア)	地域医療	22*1	高松市立病院運営事業	紹介率(市民病院)	患者の紹介・逆紹介等の実施により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携町からの患者を受け入れる。	%	50	73	146.0	地域医療支援病院の要件である紹介率50%以上、逆紹介率70%以上	A						B	B	B	A	B	高松市立病院の医療機能を発揮、活用するために、当院の地域医療患者支援センターにおいて、患者の紹介、逆紹介等地域医療連携に取り組み、紹介率73%となった。	【土庄町】高松市立みんなの病院の実績であるため評価無し。 【小豆島町】高松市立みんなの病院の実績であるため評価無し。 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【直島町】3件 【綾川町】みんなの病院への紹介は6件となっている。					
						22*2	高松市立病院運営事業	逆紹介率(市民病院)	患者の紹介・逆紹介等の実施により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携町からの患者を受け入れる。	%	70	95	135.7	地域医療支援病院の要件である紹介率50%以上、逆紹介率70%以上	A									B	B	B	A	B	高松市立病院の医療機能を発揮、活用するために、当院の地域医療患者支援センターにおいて、患者の紹介、逆紹介等地域医療連携に取り組み、逆紹介率95%となった。	【土庄町】高松市立みんなの病院の実績であるため評価無し。 【小豆島町】高松市立みんなの病院の実績であるため評価無し。 【三木町】町立の医療機関を有せず、取組実績なし。 【直島町】2件 【綾川町】12名の紹介があった。		
						23	救急医療体制の確保	市民満足度における「医療体制の充実」の満足度	休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図ることで、市民が安心して暮らすことのできる環境づくりを目指す。	%	43	44	101.4	H28年度から毎年度0.6%ずつ上昇させ、最終年度に45.3%の目標値を設定している。R2年度市民満足度調査の結果において43.9%であった。	A																地区医師会への在宅当番医制の委託、歯科救急医療センターにおける休日・夜間歯科診療運営事業への助成、病院群輪番制病院運営事業に対する助成及び夜間急病診療所の指定管理者による運営により、休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図った。	【三木町】在宅当番医制事業運営費等負担金(木田地区医師会・木田郡歯科医師会) 病院群輪番制運営費負担金 病院群輪番制病院設備費負担金 【直島町】休日在宅当番医制及び病院群輪番制ならびに高松市歯科救急医療センターの運営について支援を行った。 【綾川町】参加医療機関数 16 年間救急患者数 1,348人(うち転送患者数47人)
						24	救急艇の活用	-	-	-	0	0	-	-	A										A	A		C	小豆島中央病院からの要請により、土庄港からの搬送実績あり。	【土庄町】救急艇搬送実績 土庄町住民：23件 小豆島以外住民：1件 【小豆島町】救急搬送実績 小豆島町住民：15件 小豆島以外住民：1件 【直島町】夜間の高松方面へ搬送する場合について利用を検討した。		
						25	島しょ部(土庄町及び小豆島町)への医師派遣事業	医師派遣件数	医師の派遣に関する協定に基づき、派遣件数	件	0	0	-	高松市立みんなの病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院に派遣した回数。	D																取組実績なし。 (小豆島中央病院からの派遣要請が、H29年度末で、一旦終了したため)	【土庄町】実績なし。 【小豆島町】実績なし。
						26	遠隔医療ネットワークを使った連携	医療情報公開実績件数(H28からの累計)	患者さんの同意に基づき、参加医療機関からの求めに応じた診療情報(画像・カルテ等)の公開件数年50件、H28～H35までの8か年の累計	件	50	51	102.0	過去実績等を踏まえた目標設定に対し、引き続き開業医への訪問時等の機会を捉え、K-MIXの利用促進を図ったことにより、実績は目標を上回った。	A	B														B	かかりつけ医との情報共有を図ることにより、地域における高度かつ効率的な医療の提供に貢献した。	【さぬき市】年度末までを目途にゲートウェイサーバーの更新とともに、機能性を拡充した新システムの構築を計画し、関係機関との連携を図りつつ、導入に伴う契約締結までは完了した。 しかし、その後、取扱業者の作業に大幅な遅延が生じ、事業自体が繰越となった。 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】実績なし。 【三木町】なし 【綾川町】0件

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価						令和2年度高松市取組実績	令和2年度連携市町の取組実績			
			KPI	KPI説明	単位	令和2年度目標	令和2年度実績	達成率	令和2年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町
(イ) 介護	27	「地域包括ケア病棟」運用事業	在宅復帰率	地域包括ケアシステムの中で、その一翼を担うため、地域包括ケア病棟の開設し、患者の在宅復帰支援を行う。(在宅復帰率)	%	70	84	120.0	在宅復帰率は施設基準上の指標であり、在宅復帰率7割を満たすことが必須である。	A	B		B	B	B	B	地域包括ケアの後方支援を強化するため、「地域包括ケア病棟」を設置するとともに、入退院支援や在宅医療支援、医療福祉相談などを一元化して提供できるよう「地域医療・患者支援センター」において、急性期を脱した患者の在宅復帰を支援した。	【さぬき市】地域包括ケア病棟の運用にて、看護師等が早期に関わることにより、在宅復帰率の向上に努めた。 【土庄町】高松市立みんなの病院の実績であるため評価無し。 【小豆島町】高松市立みんなの病院の実績であるため評価無し。 【三木町】取組みが無いため評価なし。 【綾川町】地域包括ケア病床を10床から15床に増床して、在宅復帰のに向けた取組みに努めた。在宅復帰率は98%となった。	
	28	がん検診の広域化	高松市医療機関でがん検診を希望した者のうち、検診受診につながった者の割合	高松市医療機関でがん検診を希望した者のうち、検診受診につながった者の割合	%	100	100	100.0	R2年度も引き続き、連携市町及び高松市医師会と連携を図り、連携市町の住民が、高松市の医療機関で子宮頸がん・乳がん検診を受診できる体制をとったため目標値を達成した。	A					A		連携市町の住民が、高松市の医療機関で子宮頸がん・乳がん検診を受診できるよう、連携市町及び高松市医師会と連携を図った。検診予定期間：R2.7.6～R3年2月28日	【直島町】受診を希望する方が希望医療機関で受診できるよう受診予約調整を行い、受診につながるよう支援を行った。受診人数の減少は、新型コロナウイルス感染症による受診控えが原因と考えられる。	
	29	地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護)広域利用事業	当該事業所周知率	当該サービス事業者の指導・監督権限を有するため周知を行った割合	%	100	100	100.0	当該サービス事業者の指導・監督権限を有する施設を目標値とし、周知を行った件数を元に評価した。	A					C		高松市地域密着型サービス事業者指定に係る制限に関する要綱において、本市域内の地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護)については、原則、本市転入後6ヶ月を経過しない者の利用又は入居はできないが、当該サービス事業所がない直島町からの転入者には、6ヶ月が経過していても利用又は入居できる運用とする。	【直島町】当該地域への認知症対応型共同生活介護への入所希望の相談件数は0件。	
	30	在宅医療・介護連携推進事業	医療・介護関係者が多職種連携についてできていると評価した点数(10点満点)の平均	多職種連携研修等に参加している専門職による、地域の多職種連携構築度評価の平均得点(最高10点、最低0点)	点	6	5	85.0	R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、アンケートによる連携状況結果の確認をしている会議等が一部開催されず、日頃から連携をしている方々の連携状況結果の把握が出来なかったこと及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、関係者と十分な連携がとれなかったことで、成果があがらなかったため。	A					A	C	在宅医療・介護連携推進事業の8事業項目において、更に内容を充実させるため、下記の事業に取り組んだ。 ・在宅ケア利便(Web版)の維持・管理 ・在宅医療支援センターの運営 ・入退院支援ルールづくり ・多職種のためのSNSサービスの導入 ※一部、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった行事あり。	【三木町】在宅医療・介護連携推進事業の事業項目の(ア)・(イ)・(ウ)・(エ)・(オ)・(カ)・(キ)・(ク)のすべての項目に取り組んだ。医療介護の資源リストや情報共有のためのツールとして手帳等を作成した。 【直島町】研修会に参加した。	
	31	地域包括支援センター運営事業	自立高齢者率	介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合(%)	%	79	79	100.8	情報交換会等を開催し、他市と意見交換やノウハウの共有を図ることで、自立高齢者率の向上の一助となった。	A	B	A	B	B	A	A	B	R2年度については、「認知症に関する取組」として「圏域内の市町において情報交換会を開催した。	【さぬき市】情報交換会に参加し、他市町の取組み等を参考にすることができた。 【東かがわ市】地域包括支援センターにかかる情報交換会に1回参加。 【土庄町】1名参加 【小豆島町】情報交換会への事前意見調査等資料提出し、認知症施策事業・徘徊高齢者保護ネットワークについて、R3年度以降の取組についてを議題とした情報交換会(1/5)に出席した。1月頃予定していた研修会はコロナ感染症拡大防止のため行われなかった。 【三木町】高松市の呼びかけにより情報共有のための、意見交換会が実施され、有意義であった。 【直島町】情報交換会(1回)に出席した。 【綾川町】ワクチン接種を第一優先とし、接種率が高まれば地域の通いの場となる100歳体操の後方支援として、専門職の派遣等を実施。
	32	徘徊高齢者保護ネットワーク	徘徊高齢者保護ネットワークによる発見率	徘徊高齢者保護ネットワークに提供された、徘徊高齢者の捜索依頼件数に対する発見割合	%	200	150	75.0	徘徊高齢者の全員を発見することを目標としているが、高松市内で発生した、6件の捜索依頼のうち6件全てを発見できたことによるもの。	A	B	B			A	A	認知症高齢者の行方不明事案が発生した場合に、警察署や市役所の関係課などの関係機関が連携する「徘徊高齢者保護ネットワーク」を活用し、より広域で徘徊高齢者の情報を共有化することにより、当該高齢者の早期発見に取り組んだ。令和2年度の連携中枢都市圏でのネットワーク利用は、1件であった。	【さぬき市】周辺市町との徘徊高齢者保護ネットワークを活用した件数 他市町への保護要請依頼 1件 他市町からの保護要請受諾 0件 【東かがわ市】かがわ高齢者見守りネットワークにより広域的に実施。 【三木町】徘徊高齢者保護ネットワークでの捜索の実績はないが、警察から高齢者を保護した件数が4件あった。 【綾川町】当町のネットワーク(綾川町高齢者声かけ・見守りまちかどほっと仕事)における徘徊高齢者のメール配信依頼件数は0件であったが、R元年度に配信依頼した1件の解除の配信を行った。 また徘徊高齢者位置情報システム補助申請は2件あった。	
	33	介護認定審査会事業	介護認定審査会開催件数	原則週2回開催される介護認定審査会開催の開催数(グループ毎の合計)	回	673	474	70.4	目標値の根拠：認定審査会の年間開催予定数を目標値とする。 評価の理由：審査案件数が少ない週は認定審査会が不開催となる合議体も発生するため、目標値を下回った。	B					A	A	A	3町から委託された審査案件全てを認定審査会にて審査・判定し、要件に合致する認定申請については、認定審査会を簡素化して実施した。簡素化の実施により、1回の審査会で審査・判定できる審査案件数が増加したため、認定審査会の年間開催予定数をこれまでより減少させた。 11月に予定していた1市3町連絡会は新型コロナウイルス感染症防止のため、開催中止とした。	【三木町】介護認定審査会開催 51回 【直島町】介護認定審査会を依頼。依頼件数は177件 【綾川町】開催件数・・・51回 審査会委託件数・・・765件

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価						令和2年度高松市取組実績	令和2年度連携市町の取組実績			
			KPI	KPI説明	単位	令和2年度目標	令和2年度実績	達成率	令和2年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町			三木町	直島町	綾川町
(ウ) 福祉	34	自立支援協議会運営事業	全体会開催回数	定期的な情報共有を図るとともに、検討する場として開催している、全体会開催回数を成果指標とする。	回	2	2	100.0	例年通り年2回開催を継続。 ※新型コロナウイルス感染症対策として、書面開催とした。	A					A	A	障害福祉施策についての周知を行った。関係機関の連携強化及び相談支援の充実・強化を図るための研修等を行った。専門部会等の運営を行った。その他の相談支援充実・強化を図るための事業を行った。	【三木町】高松圏域自立支援協議会の運営費を負担するなど、運営事業について支援した。 【直島町】コロナの影響でできなかったこともあるが、毎月開催の自立支援協議会運営会議、子ども部会・発達障害部会医ケア部会に随時出席。年2回開催の全体会に出席。	
	35	障害支援区分等審査会業務の連携	審査会開催回数	原則毎週水曜日に審査会を開催していることから、開催回数を成果指標とする。	回	50	48	96.0	年間最大50回の開催を継続。	A					A	A	審査会を48回開催し、市と3町の審査について、引き続き連携した。 審査件数：高松市754件、三木町65件、直島町7件、綾川町48件	【三木町】審査依頼件数64件。 【直島町】障害支援区分の認定審査を依頼。依頼件数は7件。 【綾川町】毎週水曜日開催（8月のお盆の週、年末年始、祝日は休会）	
	36	ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	ファミリー・サポート・センター事業利用件数	件	7,000	7,387	105.5	過去の実績等から目標を設定した。 R2年度は、広報誌の発行や交流会の開催など、制度の周知に努め、目標を達成した。	A	B				B	B	援助活動件数：7,387件 会員養成講座：年間で計2回開催、会員スキルアップ講座：年1回開催、会員交流会：年2回開催（※新型コロナウイルスの影響で、会員養成講座、会員スキルアップ講座を各1回ずつ中止した。） ファミサポ通信：28・29号発行	【さぬき市】会員登録者数（おねがいが会員250人、まかせて会員152人、どっちも会員7人） 援助活動実績数1,143件 【三木町】「広報みき」で出張登録会等の事業についてのPRを実施した。また、子育てハンドブック改訂版「みき育ぼん」において、ファミリー・サポート・センターについて掲載し、子育て家庭へ事業の周知を行った。 【綾川町】パンフレットの配布、広報誌への掲載等住民への周知を行うとともに、利用料補助を行った。	
	37	移動図書館巡回事業	貸出冊数	直島町の巡回ステーション2か所における年間図書貸出冊数	冊	7,000	5,850	83.6	ビジョン最終年度の目標値を前倒してR3年度目標値としている。直島町広報紙等による、移動図書館巡回日程等の周知効果が表れてきていると考えられる。	A					A		毎月1回、移動図書館車が直島町内の2ステーションを巡回し、図書館サービスを提供した。	【直島町】年間利用者のべ571名 同貸出し冊数5,850冊	
	38	読書推進ボランティア養成事業	講座受講者数	読書推進に係るボランティア養成講座の年間受講者数	人	120	42	35.0	ボランティア養成講座の各定員の合計人数を目標値としている。これまで個別に実施していた絵本の読み聞かせを行うボランティアのほか、ストーリーテリング等を対象に養成講座を実施した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、前年度と比較し講座回数及び参加者数の減となっている。	D	B	A	C	B	B	C	視覚障がい者支援やブックスタート、0・1・2歳の子どもへのおはなし会やストーリーテリングについて、読み聞かせボランティア等の技術の習得や向上を図るため、連携市町のボランティア（グループ）も参加対象として、講座を計3回実施し、42人（広域0人）の参加があった。なお、情報共有として、各市町へ開催報告を行っている。	【さぬき市】読書推進ボランティア養成講座の実施なし。 【東かがわ市】研修会の計画をする際の参考にしている。 【土庄町】高松市立図書館の行事のチラシなどを当館のカウンターに置くなどは協力したと思われるが、参加しなかった実績なし。 【小豆島町】チラシ頒布。 【三木町】町内外に対し情報発信予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。 【直島町】例年実施しているメンバーであるため、研修会等は取り組み実施がなかった。 【綾川町】受講者数0人。事業の実績報告及び講座で用いた資料の提供をうけ、図書館へ配布。	
	39	帰国児童等支援事業	帰国児童等への日本語指導等対応率	指導を行った件数/指導が必要な帰国児童等	%	184	116	63.0	帰国児童等への日本語指導等に十分に対応でき、児童生徒の円滑な学校生活や学習支援に寄与した。	B					C	B	近隣自治体と要支援情報等について情報を共有し、支援が必要な児童生徒の対応に生かした。また、近隣自治体にも情報提供を行った。帰国児童等の急な入れ替わりにより、日本語指導者の派遣が難しいものとなった。	【三木町】要支援情報等について、帰国児童等が在籍する学校と情報を共有した。 【綾川町】指導件数1件 対象生徒 中学3年生（中国籍） 指導時間 週1時間程度 年間58時間指導	
	40	特別支援教育推進連携事業	相談希望校等への相談訪問率	相談訪問件数/相談希望校数	%	100	100	100.0	発達障害など、個の教育的ニーズに応じた支援の在り方について相談を希望した学校に、すべて専門指導員等を派遣し、特別支援教育の充実を図ることができた。	A					C	B	B	高松市が中心となって高松地域連携推進協議会を開催し、三木町と連携を図った。	【土庄町】高松市を中心として協議が実施された。 【小豆島町】取り組み実績はなし。 【三木町】取組実績なし。 【綾川町】新型コロナウイルス感染症拡大の影響で教職員を対象とした特別支援教育研修会は開催できなかった。一方、綾川町（子育て支援課）が雇用している早期支援教育コーディネーターを有効に活用し、子ども園・小中学校の適切な就学指導等を進めた。
	41	こども未来館学習体験事業	こども未来館学習参加校数	こども未来館学習参加校数	校	50	6	12.0	【R2年度の目標設定方法】 高松市内の小学校と瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校を合わせて、50校としていた。 【目標値に対する実績の理由】 R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、当館で実施したのは希望する中枢連携都市圏内小学校と高松第一小学校の6校だったため、目標値を下回った。	D	A				A	A	A	高松市内の小学校1校、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校5校の合わせて6校がこども未来館学習を実施した。市内小中学校の希望校には、職員が学校に訪問して「出張！こども未来館学習」を実施した。	【さぬき市】さぬき市内 小学校2校実施 ・長尾小学校 R2年11月5日 2年生 ・寒川小学校 R2年10月23日 3年生 【土庄町】町内小学校の1校が参加。 【小豆島町】町内の小学校から、2校が参加予定だったが、1校は参加し、もう1校は新型コロナウイルスの影響により参加を中止した。 【三木町】新型コロナの影響により、小学校4校のうち1校が実施。 【直島町】参加者数人（児童20人、引率教員2人） 【綾川町】定例校長会の場でこども未来館担当者に説明等を依頼するなどし、本施設の積極的な利活用を促した。 利用校数：小学校5校（219名）、中学校0校

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和2年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

資料1

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価							令和2年度高松市取組実績	令和2年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和2年度目標	令和2年度実績	達成率	令和2年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
	42	史跡・遺跡の調査研究及び発信	講座等参加者数	圏域内の史跡・遺跡の調査研究について、講座等でその成果を紹介し、情報発信を連携して行う。その参加者数	人	3,000	1,271	42.4	講座等を開催したほか、出前講座等で多くの人に遺跡の調査研究の情報発信を行う機会を設けた。	D	B	A	C					コロナ感染症対策に配慮し、参加定員を50%に抑え、換気を十分行うなど安全対策を講じて実施した。 一般向け見学会及び講演会等の出前講座の実施 20回 学校向けの見学会・出前講座 9回 連載講座等の開催 3回	【さぬき市】古代寺院から出土した瓦の展示会を開催した。 【東かがわ市】引田城跡啓発事業（引田城ガイド）を実施し、18回274人の参加があった。 【土庄町】実績なし。
	43	高松市埋蔵文化財センターの運営	施設利用者数	埋蔵文化財の調査技術、調査成果等に関する情報交換を行うとともに、埋蔵文化財の情報発信事業（展示等）のための資料の相互貸借を行う。その利用者数	人	3,000	1,070	35.7	企画展や体験講座を実施して、イベントに参加する機会を設けた。	D	B	A	A	B			B	コロナ感染症対策に配慮し、参加定員を50%に抑え、換気を十分行うなど安全対策を講じて実施した。 企画展の開催 2回 夏休み講座の開催 2回 体験講座の実施 3回	【さぬき市】古代寺院から出土した瓦の展示会を開催した。 【東かがわ市】引田城跡をテーマとした出前展示を開催し、152人の来場があった。 【土庄町】高松市埋蔵文化財センターが中心になり、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏で各市町の遺跡、史跡をまとめた。 【小豆島町】高松市が中心となり、連携市町の特筆すべき史跡等の情報をまとめ、1つのパネルを作成した。 刊行物の相互交換等を行った。 【綾川町】合同パネル作成。
	44	中学校総合体育大会等の連携	中学校総合体育大会等における実施競技数	中学校総合体育大会・中学校新人体育大会における実施競技数に、中学校駅伝競走大会を加えた競技数	競技	18	17	94.4	例年実施している競技の大会を継続して開催することにより、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の仕事の質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な生徒の育成を図ることができる。 新型コロナウイルス感染症の影響により、駅伝競走について未実施となったが、新人体育大会、また総合体育大会（代替の取組）を開催し、部活動等での練習の成果を発揮することができた。	A					A	B	高松地区総合体育大会（代替の取組）、高松地区新人体育大会の開催。	【三木町】総合体育大会（代替の取組み）・新人体育大会を実施した。 【直島町】・中学校総合体育大会（代替の取組） 参加競技数3種目（参加生徒数のべ14人） ・中学校新人体育大会（代替の取組） 参加競技数2種目（参加生徒数のべ19人） ・中学校駅伝競走大会 参加なし	
	45	高松市屋島競技場の活用	屋島競技場利用者数	屋島競技場の利用者数（旧屋島陸上競技場閉場前3年間平均値：62,827人）	人	114,974	84,947	73.9	旧屋島陸上競技場利用者数と比較して、R2年時点で、利用者数の1.83倍（114,974人）を目標とした。 新型コロナウイルス感染症の影響により4月・5月が休場となったほか、各種イベントの中止に伴い、利用者数は84,947人と目標値比73.8%となった。	B	B	C	C	C	B	C	新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止された。大幅な利用者の減少があった。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】利用実績なし。 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】実施なし。 【三木町】各種イベントのPRを図った。 【直島町】広報、周知等の取り組み実績なし。 【綾川町】実績なし。	
	46	地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供	トップスポーツチーム試合観戦者数	地域密着型トップスポーツ4チームのホームゲームにおける観戦者数	人	160,700	34,965	21.8	3ヶ年（H24年度～H26年度）の実績（前年比）の平均値を基に、算出している。 新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの観戦方法に制限が加わった点等から、いずれのチームの観客数も大幅減となり、香川アイソフエローズは不開催となった。目標値比21.8%。	D	B	A	C	B	B	B	圏域内の児童生徒等に、高松市内を拠点に活動している地域密着型トップスポーツチームの試合観戦の機会を提供するため、チーム等との連絡調整及び取りまとめ事務を行った。	【さぬき市】カマタマレ讃岐：ホームゲーム最終戦でハーフタイム抽選会にさぬき市PRグッズを提供。 【東かがわ市】高松合同カマタマレ讃岐体験会＆観戦ツアー 【土庄町】連携事業としての実績なし。 【小豆島町】チラシ配布。 【三木町】各種イベントのPRを図った。R1年度にアイスフェローズホームタウンデーを実施したが、R2年度は新型コロナウイルス感染症により公式戦そのものが開催中止となった。 【直島町】コロナウイルス影響により、取り組み実施なし。 【綾川町】実績なし。	
(オ)	47	土地利用施策の広域的な連携・推進	-	-	-	0	0	-	-	A						C	B	連携市町が参加する、区域マスタープラン検討委員会や高松広域都市圏都市交通マスタープランフォローアップ委員会等の各種委員会、会議において本市における都市構造集約化の施策や状況について周知、情報共有をおこなった。	【三木町】広域的な取組みがないため評価なし。 【綾川町】実績なし。
(カ) 地域振興	48	グリーン・ツーリズム等農業振興事業	グリーン・ツーリズム等参加者数	農業体験等のグリーン・ツーリズムを推進し、都市住民との交流促進及び農業所得の向上を図る。	千人	180	145	80.6	R2年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。 目標値に対する実績の理由：新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者数は低調であった。	B			C	C	B		H Pを充実するなどグリーン・ツーリズムをPRし、農業体験等を通じた圏域住民との交流促進を図った。	【土庄町】連携事業の実施には至っていないが、町としてグリーンツーリズム推進を図った。 【小豆島町】コロナウイルス感染症の影響により、グリーン・ツーリズム関係の事業はできていないため、取組実績なし。 【三木町】県とともにパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信を行った。	
	49	獣害対策事業	ニホンザルの農作物への被害面積	高松市鳥獣被害防止計画に基づき、ニホンザルの農作物への被害面積	ha	2	2	114.6	R2年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。 目標値に対する実績の理由：サル个体数を減らすことで、農作物被害の減少を図る。効果的なわなの設置と集落による被害防止活動への支援を行い、一定の効果が得られた。	C						B	サルの出没情報を共有し、出没頻度の高い地域に集中的にわなを設置した。これによりサルを17頭捕獲した。	【三木町】高松市東植田町と三木町朝倉地区のニホンザルの出没場所等の情報共有を行った。	

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価							令和2年度高松市取組実績	令和2年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和2年度目標	令和2年度実績	達成率	令和2年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
(キ) 災害対策	50	産学官連携推進事業【再掲】	大学及び企業等との連携事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業等との連携事業数	事業	158	165	104.4	大学等との連携・協力事業数及び包括連携協定を締結する企業との連携事業数の合計とし、R5年度までに170事業を目指す。R2年度は、新型コロナウイルス感染症の対策に配慮しつつ、目標を達成した。	A	B	B	C	C	A	C	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、約7割の連携事業の実施に影響が出た。また、新たに生活協同組合コープかがわ及び第一生命保険株式会社と包括連携協定を締結し、高齢者福祉や子育て支援などの連携事業を実施した。	【再掲のため省略】
	51	生涯学習推進事業	生涯学習コーディネーター養成講座参加人数	本市がほぼ毎月開催している生涯学習コーディネーター養成講座への年間参加延べ人数	人	480	274	57.1	R2年度目標：各コミュニティセンターから462人、土庄町、小豆島町各1人×9回出席＝18人の合わせて480人を目標としたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部講座を開催できなかったことにより、各コミュニティセンター、連携町からの参加者数が少なかったため目標に達しなかった。	C			C	B				生涯学習コーディネーター養成講座を、年間7回実施し、連携町である2町に対して参加を依頼したが、参加者は0名であった。また、生涯学習センターで実施している講座を掲載している「まなびかんづめ」を連携町に送付し、連携町での周知等を依頼した。	【土庄町】各種講座について、住民に周知した。 【小豆島町】チラシ頒布。
	52	男女共同参画センター学習研修事業	学習研修事業参加者数	学習研修事業に参加することによって、男女共同参画に関する意識が啓発される可能性が高いため。	人	2,000	1,018	50.9	R2年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大の状況などから、実施できなかったり、集客が思うようにならなかったことから、目標を達成することができなかった。	C			B	B			C	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施した。 ○学習研修事業 全45回 ・だれもがいきいき参画・まちづくり講座（5回） ・参画センター出前講座（3回） など	【土庄町】各種講座について、住民に周知した。 【小豆島町】高松市のセンターだよりを活用し、周知に努めている。 【綾川町】参画センターだよりを掲示。
	53	災害時相互応援協定	-	-	-	0	0	-	-	A	A	A	A	A	A	A	A	【さぬき市】圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。 【東かがわ市】圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。 【土庄町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【小豆島町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【三木町】圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、平常時から連携を図り、発生時に的確に対応できるよう備えた。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】圏域内に大規模災害が発生していないため実績はないが、平時から連携を図り、災害発生時に円滑な対応ができるよう備えた。	
	54	香川県消防相互応援協定	-	-	-	0	0	-	-	A	A	A	A	A	A	A	A	消防相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。(実績なし)	【さぬき市】圏域市町に大規模な災害が発生していないため、実績はないが、消防相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【東かがわ市】大規模災害がなく相互応援は行っていない。 【土庄町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【小豆島町】相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【三木町】圏域市町に大規模な火災が発生していないため、実績はないが、消防相互応援体制を維持し、不測の事態に備えた。 【直島町】圏域住民のために必要であり、協定を継続した。 【綾川町】相互応援協定を活用するよう事例がなかったため、特になし。
	55	高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	-	-	-	0	0	-	-	A					A	A		消火救難活動体制を維持し、緊急対応に備えた。(実績なし)	【三木町】本協定に定める緊急事態が発生していないため、実績はない。 【綾川町】協定を活用するよう事例がなかったため、特になし。
	56	消防業務の事務委託	-	-	-	0	0	-	-	A					A	A		受託町における消防行政を円滑に実施するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進した。 建物火災 三木町 4件 綾川町 3件 (R2年暦年)	【三木町】火災出場18件（建物火災5件、林野火災8件、車両火災2件、その他火災3件）、救急出場（出場1, 169件）住民の安心・安全に寄与している。 【綾川町】常備消防事務委託

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI(成果目標)						連携市町評価							令和2年度高松市取組実績	令和2年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和2年度目標	令和2年度実績	達成率	令和2年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	連携市町評価								
											さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
(ク) 環境	57	地域防災対策事業	訓練等に参加した自治体数	災害時の通信方法の確認のため、防災行政無線等を活用した通信訓練を行い、相互の応援要請や被害状況等の把握を行う。	自治体	8	7	87.5	目標値の根拠：圏域7市町と、災害時の通信方法を確保するため。 評価の理由：震災対策総合訓練が、新型コロナウイルス感染拡大により中止となったため、訓練の見直しにより、R2年度をもって震災対策総合訓練が廃止となったため、R2年度途中に一層の連携強化を図ることを目的に、取組内容を右記のとおり見直し、7市町に参加いただいた。市民防災講演会に参加いただき地域防災に活かしていただくとともに、情報交換会では、各市町が抱える課題について、情報共有を図ることができた。また、顔の見える関係を築けたことで、連携強化が図れた。	B	B	B	A	A	A	B	B	予定していた震災対策総合訓練が新型コロナウイルス感染拡大により中止となったため、通信訓練は行えなかった。また、R2年度をもって震災対策総合訓練が廃止となったことから、新たな連携取組としてR2年度の途中からではあるが、高松市主催の市民防災講演会（1/12）への出席と情報交換会に参加した。 【東かがわ市】予定していた震災対策総合訓練が新型コロナウイルス感染拡大により中止となったため、通信訓練は行えなかった。新たな連携取組として高松主催の市民防災講演会に出席し、終了後に7市町で情報交換会に参加した。 【土庄町】高松市が実施する防災講演会、連携市町による情報交換会の実施。 【小豆島町】担当者が会し、情報共有を行った。 【三木町】通信訓練に替え、連携市町で意見交換会を行った。 【直島町】新たな連携取組としてR2年度の途中からではあるが、高松市主催の市民防災講演会（1/12）へ出席し、講演会後に7市町で情報交換会を実施した。 【綾川町】新型コロナウイルス感染拡大により通信訓練の開催は中止となったが、高松市主催の市民防災講演と圏域市町の担当者情報交換会に参加した。	【さぬき市】参加を予定していた高松市震災対策総合訓練が新型コロナウイルス感染拡大により中止となったため、通信訓練は行えなかった。また、R2年度をもって高松市震災対策総合訓練が廃止となったことから、新たな連携取組としてR2年度の途中からではあるが、高松市主催の市民防災講演会（1/12）への出席と情報交換会に参加した。
	58	一般廃棄物の処理・処分に関する業務	-	-	-	0	0	-	-	A								綾川町から委託を受け、西部クリーンセンターにおいて、綾川町の区域から排出される一般廃棄物を約4,744t（し尿及び浄化槽汚泥を除く。）の中間処理（焼却、破砕）を行った。また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分に関する業務を綾川町に委託し、焼却灰を約2,086tを綾川町一般廃棄物最終処分場へ搬出した。	【綾川町】綾川町一般廃棄物処理基本計画に基づいて処理を行っている。
	59	し尿処理に関する業務	-	-	-	0	0	-	-	B						A	A	三木町・綾川町から排出された、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。また、本市と綾川町が共有している国分寺町し尿貯留槽の管理を綾川町に委託した。処理実績 64,205kl 【三木町】三木町から排出されたし尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。 処理実績 7,753kl （内訳）し尿 1,511kl 浄化槽汚泥 6,242kl 【綾川町】修理対応できている。	【三木町】三木町から排出されたし尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。 処理実績 7,753kl （内訳）し尿 1,511kl 浄化槽汚泥 6,242kl 【綾川町】修理対応できている。
	60	環境学習等推進事業	環境学習講座参加者数	環境学習講座（環境ワークショップ）、出前講座及び自然観察体験事業の参加者数の合計	人	2,325	381	16.4	瓦町FLAGの市民活動センターで講座を実施するなど参加しやすい環境で、参加者数の増加を目標とする。そして環境意識の向上の度合いを図る。	D	B	C	C	B	A	B	B	年度前半及び夏休みは新型コロナウイルス感染防止のため、講座が中止となったが、年度後半は環境学習講座の参加応募条件を「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内に在住、又は通勤・通学する方」として、広報紙やホームページで参加者を募った。 【さぬき市】県主催の緑のカーテン育成講習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止となった。 【東かがわ市】ごみの減量化に係る出前講座 1回 【土庄町】新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止。 【小豆島町】取り組み実績なし。 【三木町】三木浄化センター及び三木町クリーンセンターの施設見学を中心とする親子で学ぶ環境教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。 【直島町】直島小学校環境教室を年3回開催した。（干潟観察・アマモ見学、ハマチ・海苔の養殖見学、海苔漉き体験） 【綾川町】綾川の水質検査を行っているが、出前講座などは行っていない。	【さぬき市】県主催の緑のカーテン育成講習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止となった。 【東かがわ市】ごみの減量化に係る出前講座 1回 【土庄町】新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止。 【小豆島町】取り組み実績なし。 【三木町】三木浄化センター及び三木町クリーンセンターの施設見学を中心とする親子で学ぶ環境教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。 【直島町】直島小学校環境教室を年3回開催した。（干潟観察・アマモ見学、ハマチ・海苔の養殖見学、海苔漉き体験） 【綾川町】綾川の水質検査を行っているが、出前講座などは行っていない。
	61	環境負荷の少ない自動車の普及促進	電気自動車の普及台数	環境に負荷の少ない電気自動車を多くの住民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際における電気自動車購入の意識付けを行う。また、急速充電器の管理・運営を行うとともに、充電設備の設置状況の情報提供を行うことなどにより、	台	816	340	41.7	過去の電気自動車保有台数（実績）の平均増加率と同程度の増加分が今後も継続するものとして目標値を算出。達成率は41.7%で伸び悩み傾向にあり、R2年度は前年度を下回ったが、保有台数は例年増加する傾向にある。	D	C	C	B	B	B	C	B	環境展及びSTOP！地球温暖化展で電気自動車等次世代自動車普及啓発パネルを展示普及啓発を図った。また、車体をラッピングした公用電気自動車を市内走行させPRするとともに、走行実績に伴う温室効果ガス削減等の情報をホームページに掲載した。さらに、市が市内道の駅等3か所に設置した急速充電器の情報発信と運営管理を行った。 【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】市独自の取り組みがなく、高松市実施の事業への参加も行っていない。 【土庄町】クールチョイスにより、電気自動車の試乗会を実施。 【小豆島町】圏域内の連携行動は特になし。 ※小豆島町が独自に整備した充電施設などの保全に努め、自分のあいた無償利用とすることで、電気自動車の普及を促進している。 【三木町】「ストップ！地球温暖化展」など環境問題をテーマとしたイベントの周知。 【直島町】町が率先して、電気自動車の使用を行い住民に啓発活動を行った。 【綾川町】綾川町の公用車として電気自動車1台更新。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】市独自の取り組みがなく、高松市実施の事業への参加も行っていない。 【土庄町】クールチョイスにより、電気自動車の試乗会を実施。 【小豆島町】圏域内の連携行動は特になし。 ※小豆島町が独自に整備した充電施設などの保全に努め、自分のあいた無償利用とすることで、電気自動車の普及を促進している。 【三木町】「ストップ！地球温暖化展」など環境問題をテーマとしたイベントの周知。 【直島町】町が率先して、電気自動車の使用を行い住民に啓発活動を行った。 【綾川町】綾川町の公用車として電気自動車1台更新。
62	小型家電等リサイクル推進事業	年間回収量	市が実施するボックス回収・ピックアップ回収・イベント回収により回収された使用済小型家電の総量	トン	17	16	92.6	市民への周知・啓発活動を行い、使用済小型家電の回収量増加と循環型社会の意識の啓発につなげる。 回収目標については、R5年度の目標を8トン（市民一人当たり約20g）と設定し、R2年度の目標は7トンと設定している。 R2年度は、引き続き市民への周知・啓発活動に努めたことから前年度より回収量が増加した。	C	B	B	B	B	B	A	A	引き続き、市内23か所でのボックス回収、ピックアップ回収、イベント時の回収を行う。「小型家電等リサイクル推進事業担当課長会」は、新型コロナウイルス感染症対策のため開催せず、連携市町の実績調査と結果をフィードバックし、情報共有を行った。 【さぬき市】市役所本庁舎及び各支所の計4か所においてボックス回収を行い、合計158kgの回収があった。 【東かがわ市】拠点3か所でのボックス回収を実施し、回収及び周知を行っている。 【土庄町】回収は行ったが、量が少なかったため、R2年度については、輸送していない。 【小豆島町】拠点2か所でのボックス回収を実施し、回収実績は約0.5t。 【三木町】町内公共施設2箇所に使用済小型家電の回収ボックスを設置して回収した。回収実績 0.3トン 【直島町】ピックアップ回収 年間総量 9.6トン 【綾川町】回収量 2,160kg（参考：R1 2,970kg）	【さぬき市】市役所本庁舎及び各支所の計4か所においてボックス回収を行い、合計158kgの回収があった。 【東かがわ市】拠点3か所でのボックス回収を実施し、回収及び周知を行っている。 【土庄町】回収は行ったが、量が少なかったため、R2年度については、輸送していない。 【小豆島町】拠点2か所でのボックス回収を実施し、回収実績は約0.5t。 【三木町】町内公共施設2箇所に使用済小型家電の回収ボックスを設置して回収した。回収実績 0.3トン 【直島町】ピックアップ回収 年間総量 9.6トン 【綾川町】回収量 2,160kg（参考：R1 2,970kg）	

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業の評価について（令和2年度実施事業：評価結果の詳細）

※高松市、連携市町評価・・・A、B、C、Dの4段階評価

資料1

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)						連携市町評価							令和2年度高松市取組実績	令和2年度連携市町の取組実績		
			KPI	KPI説明	単位	令和2年度目標	令和2年度実績	達成率	令和2年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町
	63	不法投棄対策事業の推進	不法投棄撲滅ふれあいグリーン作戦参加者数	各市町が連携して地域住民及びボランティア参加のグリーン作戦を実施することで、地域の環境美化と不法投棄撲滅に対する意識啓発を図る。	人	7,200	0	0.0	毎年実施している不法投棄撲滅グリーン作戦の参加者数を目標値として設定している。しかしながら、R2に関してはすべてのグリーン作戦が新型コロナの影響により、中止になったため、参加者は0人である。なお、地域一斉清掃という形での地元による不法投棄対策は一定程度進んだ。	D	B	B	B	A	B	C	A	新型コロナの影響により、全6グリーン作戦を中止した。	【さぬき市】清掃活動を行う団体に対し、ごみ袋の支給、清掃用具の貸し出し及びごみの回収等の支援を行い、延べ約6,600人が環境美化活動に参加した。 【東かがわ市】情報交換会 1回 市環境美化促進員によるパトロール3回(3地区各1回) 海岸・河川清掃を実施 【土庄町】例年行っている近隣市町村と協力を、同時開催による不法投棄撲滅を目的とした土庄港周辺のグリーン作戦については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。 また、各自治会ごとに定期的な海岸清掃活動については実施できており、継続的なパトロール等を行い、不法投棄が発生した場所を監視していきたい。 【小豆島町】情報交換 = 1回/年 グリーン作戦等の行事は、それぞれの連携町が単独で実施。 【三木町】R2年12月6日高松市公測森林公園で、きれいな自然環境を守ろう！高松・三木出合いふれあいグリーン作戦を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。 【直島町】8月～2月(月2回)重点海岸漂着物回収延べ52名、回収2,14トン 【綾川町】5月 綾川町グリーン作戦(開催日は各自治会に委ねた。集めたゴミは各自治会のゴミ収集の日に回収) 1月 エアポートグリーン作戦 中止 3月 綾川河川清掃 中止
イ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	(ア) 地域公共交通	64	ICカードを利用した公共交通利用促進事業【再掲】	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、ICカード「IruCa」を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	2	2	100.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。 R2年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	A	B	B	A	A	A	A	R2年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【再掲のため省略】
		65	コミバス等へのIruCa導入事業	コミバス等へのIruCa導入事業参加自治体数	取組の目的は、ICカード「IruCa」による各種割引サービスの適用を受けることができるよう、コミバスにシステムを導入し、利便性の向上を図るものであり、施策の参加自治体数を増やす。	自治体	2	1	50.0	毎年1自治体追加することを目標として設定した。 R2年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有した。	C	B	B	A	A	C	C	R2年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。	【さぬき市】導入費用等について協議した。 【土庄町】IruCa搭載型のコミバス導入に向け、予算措置及び入札を行った。(納車はR3年度中) 【小豆島町】町内バス路線及び航路において導入済である。 【三木町】コミュニティバス等へのICカード導入について具体的に検討ができた。 【綾川町】実績なし。
		66	地域公共交通再編事業	圏域市町と高松市をアクセスするバス路線数	取組の目的は、連携市町と高松市間の公共交通によるアクセス手段を確保することにより、公共交通の利便性向上を図るものであり、自治体を繋ぐバス路線数を増やす。	路線	3	3	100.0	周知・情報共有などの準備期間であるため、現状維持を目標として設定した。 R2年度は、事業の有効性等について周知することにより、事業の有効性を共有し、事業を拡大する。	A	B	B			A	C	C	R2年度は、連携自治体に対し、引き続き事業の有効性等について周知することにより、事業の拡大に努めた。
(イ) ICTインフラ整備	67	データ活用型スマートシティ推進事業【再掲】	連携して収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	IoT共通プラットフォームを活用して、各市町と連携し、収集・分析する地域課題の解決につながるデータ分野の数	分野	1	1	100.0	R5目標である4分野に対し、R元・2年度は1分野、その後1分野/年ずつ連携する分野を追加していく計画で目標を設定。 また、R2年度は前年度に引き続き、防災分野について、連携を行ったもの。	A	B	A	B	B	B	C	A	本市のIoT共通プラットフォーム(FIWARE)の共同利用について、綾川町と締結している協定に基づき、防災分野において、水位計データや降水量データ等の共有・可視化等を実施した。(なお連携中枢都市圏以外で観音寺市とも共同利用を実施中。)	【再掲のため省略】
	(ウ) 道路等の交通インフラの整備・維持	68	橋りょう改築修繕事業	-	-	-	0	0	-	-	B	C	A	C	C	B	B	橋りょう長寿命化修繕計画について、香川県内の道路管理者等で構成される「道路メンテナンス会議」を通して点検状況の報告を行い、圏域全体での情報共有を図った。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】具体的な取組実績なし 【土庄町】道路管理者として橋梁の点検を近接目視により5年に1回の頻度で行うことになっており、昨年はコンサルタント委託にて38橋の調査を行ったが、特に高松市と連携して行う案件が無かったため、連携した取組実績はなかった。 【小豆島町】道路メンテナンス会議は開催されたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、不参加となった。会議資料を確認し情報共有した。 【三木町】「道路メンテナンス会議」にて情報共有を行った。 【直島町】前年度の点検結果を踏まえ、修繕等はなかった。 【綾川町】道路メンテナンス会議に出席。
69		道路新設改良事業	-	-	-	0	0	-	-	B	A	C	B	B	B	B	B	行政区域界での生活道路(市道)の新設改良工事について、該当がなかった。	【さぬき市】取組実績なし。 【土庄町】道路管理者として必要な町道の新設や改良工事を行ったが、特に高松市と連携して行う案件が無かったため、連携した取組実績はなかった。 【三木町】行政区域界における市道・町道の新設改良工事がなかったため、実績なし。 【綾川町】実績なし。

連携協約項目	事業No	事業(取組)名	KPI (成果目標)							連携市町評価							令和2年度高松市取組実績	令和2年度連携市町の取組実績	
			KPI	KPI説明	単位	令和2年度目標	令和2年度実績	達成率	令和2年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町			綾川町
ウ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	70	ブランド農産物育成支援事業【再掲】	たかまつ食と農のフェスタにおける出展者販売額	たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町からも出展してもらい、地域の特産物のPR及び販売促進を図る。	千円	0	0	-	R2年度の目標設定方法：過去の実績を基に目標値を設定している。	A	C	B	B				B	R2年度については、サンメッセかがわの改修工事のため、たかまつ食と農のフェスタの開催は休止した。	【再掲のため省略】
	71	自然体験等を通じた住民の交流の促進	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ポータルサイトへのアクセス数	イベント情報を掲載する瀬戸・高松広域連携中枢都市圏のホームページのアクセス数	件	3,900	3,735	95.8	H29年度実績（訪問者数）をベースに、圏域人口（ビジョン目標）の1%を最終年度の目標とし、漸増を目標とする。新型コロナウイルスの影響により、イベントが中止になり、十分な情報発信ができなかった。	A	B	C	C	C	B	C	B	H28年度に構築した、ポータルサイトについて、適切な保守・管理を行いながら、都市圏ビジョンに基づく取組や本市及び連携市町の魅力の発信を予定していたが、新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止となり十分な情報発信ができなかった。	【さぬき市】取組実績なし。 【東かがわ市】市内団体の自主的な取組を支援したが、新型コロナウイルスの影響でイベントの中止が多かった。 【土庄町】実績なし。 【小豆島町】取組実績なし。 【三木町】自然体験に特化したイベントは未実施であるが、今後開催する際には情報発信で周知を行う。 【直島町】コロナの影響もありイベントが中止になったため、イベント情報の掲載ができなかった。 【綾川町】農家民宿を開業した方を町HPに掲載し、PRを行ったが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、都市部からの交流にはつながらなかった。
	72	移住・交流促進事業	圏域市町全体の社会増減	移住促進策の実施に伴う、圏域全体での社会増減数	人	1,100	653	59.4	第2期たかまつ創生総合戦略に基づき、目標を設定。減少傾向であった社会増は、減少前の水準に戻ったものの、依然として県外社会増減は社会減となっている。	C	B	A	B	A	B	C	B	香川県と連携した移住フェアをはじめ、本市主催の対面開催のイベントの多くが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、オンラインを活用した交流会などに変更し実施したほか、「瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンター」においても、オンラインを活用した移住・就労相談を実施した。また、社会的にテレワークが普及したため、島（女木・男木）、山（塩江）でワーケーションができる環境を整備した。	【さぬき市】セミナーを実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期になった。 【東かがわ市】オンライン移住フェア 1回（相談件数 0件） さぬき市・東かがわ市の移住者交流会 1回（7組19名参加） 実施圏域独自の移住フェアの開催に努めた。 【土庄町】空き家バンク、島暮らし体験の家の運営、オンラインでのセミナー・フェアへの参加などの移住促進施策に取り組んだ。（実績：I・Jターン 113組133人、Uターン48組71人） 【小豆島町】小豆島町移住者数（I・Jターン）115人（Uターン）73人 全国オンライン移住フェア 年4回 全国オンライン移住セミナー 年2回 【三木町】移住フェアは新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止 joinのオンラインイベント参加 三木町3名 相談実績1名 【直島町】合同セミナーが延期となったため、圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】瀬戸・たかまつ移住&キャリアサポートセンターへバンフレットを設置した。
73	人材育成事業、合同研修等の実施	合同研修の開催回数	合同研修の機会を増やし、圏域自治体職員の能力向上及び市町域をまたいだ交流や連携を図るため。	回	5	5	100.0	人材の育成・交流及び圏域のマネジメント能力の向上を図ることができる研修を合同で実施する。コロナ禍においても感染予防策を講じた上で研修を実施し、目標値を達成した。有効性・効率性の面においては、各市町からの要望を聞きできる限り多くの職員に参加してもらえようとする。	A	B	B	A	A	A	C	A	実践的政策形成能力を高めるための研修を始め、行政環境の変化に対応できる幅広い視野を養うための研修を合同で実施し、圏域内市町職員の能力・資質の向上を図った。 【開催回数】・業務改善能力向上研修1回 ・OJT研修1回 ・手話技術研修1回 ・女性職員エンパワー研修1回 ・キャリアデザイン&モチベーションアップ研修 1回	【さぬき市】女性職員エンパワー研修に参加し、参加者数としては、1名が研修に参加した。 【東かがわ市】2研修に3人参加 合同研修以外の研修についてだが、職員からは、コロナ禍での市外での集合研修参加を心配する声もあった。 【土庄町】合同研修に参加した。 【小豆島町】2回の研修に各1名が参加した。（係長職員研修、女性職員エンパワー研修） 【三木町】業務改善能力や実践的政策形成能力を高めるための研修をはじめ、行政環境の変化に対応できる幅広い視野を養うための教養講演会に参加し、職員の能力・資質の向上を図った。 【直島町】合同研修が延期となったため、圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】一般職員第II部研修（業務改善）及び手話技術研修（手話に関する基礎知識、手話技術等）、女性職員エンパワー研修（女性職員の意識改革等）に各1名参加。	
74	地域コミュニティ人材養成事業	講演会・講習会の参加者数	地域のリーダー養成を目的として実施している人材養成事業の参加者が増加することで、地域コミュニティの自立と活性化が図られる。	人	150	0	0.0	前年度と事業形態に変更が無いため、前年度目標値及び実績を基に設定。事業は実施できず。	D	B	A	B	C	B	C	B	講演会等の内容、それに伴う講師の人選等について検討するため、大学講師との協議も行ったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止した。	【さぬき市】市政懇談会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小して実施した。 【東かがわ市】講演内容の調整を行い、開催に際しては地域コミュニティ協議会等への周知を行った。 【土庄町】研修の中止により、実績なし。 【小豆島町】取組実績なし。 【三木町】新型コロナウイルス感染拡大の影響により講演会なし。三木町 0名 【直島町】新型コロナウイルスの影響等で講演会・講習会が中止となったため、参加できなかった。 【綾川町】新型コロナウイルス感染拡大により参加できていない。	